

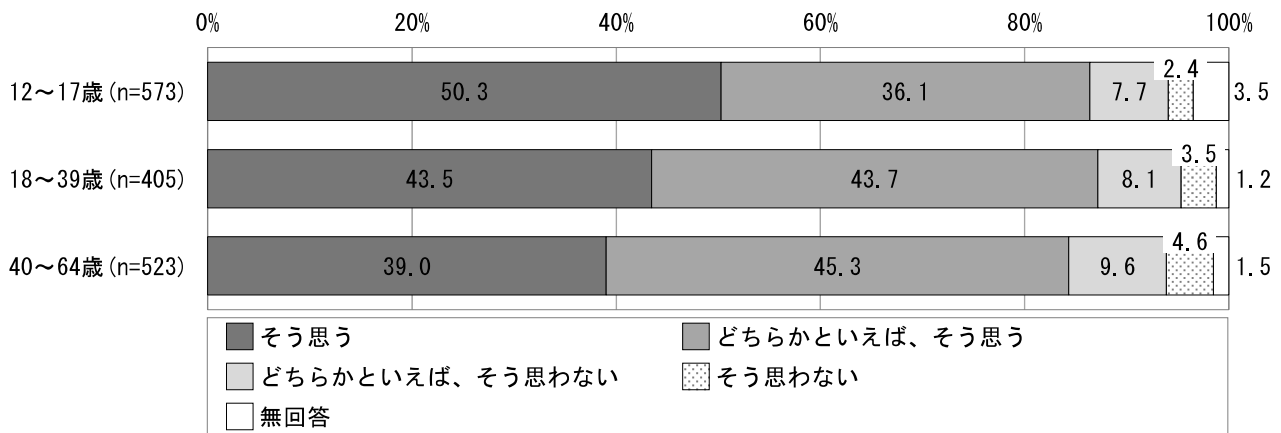
第 5 章 結果のまとめ

1. 調査間の比較

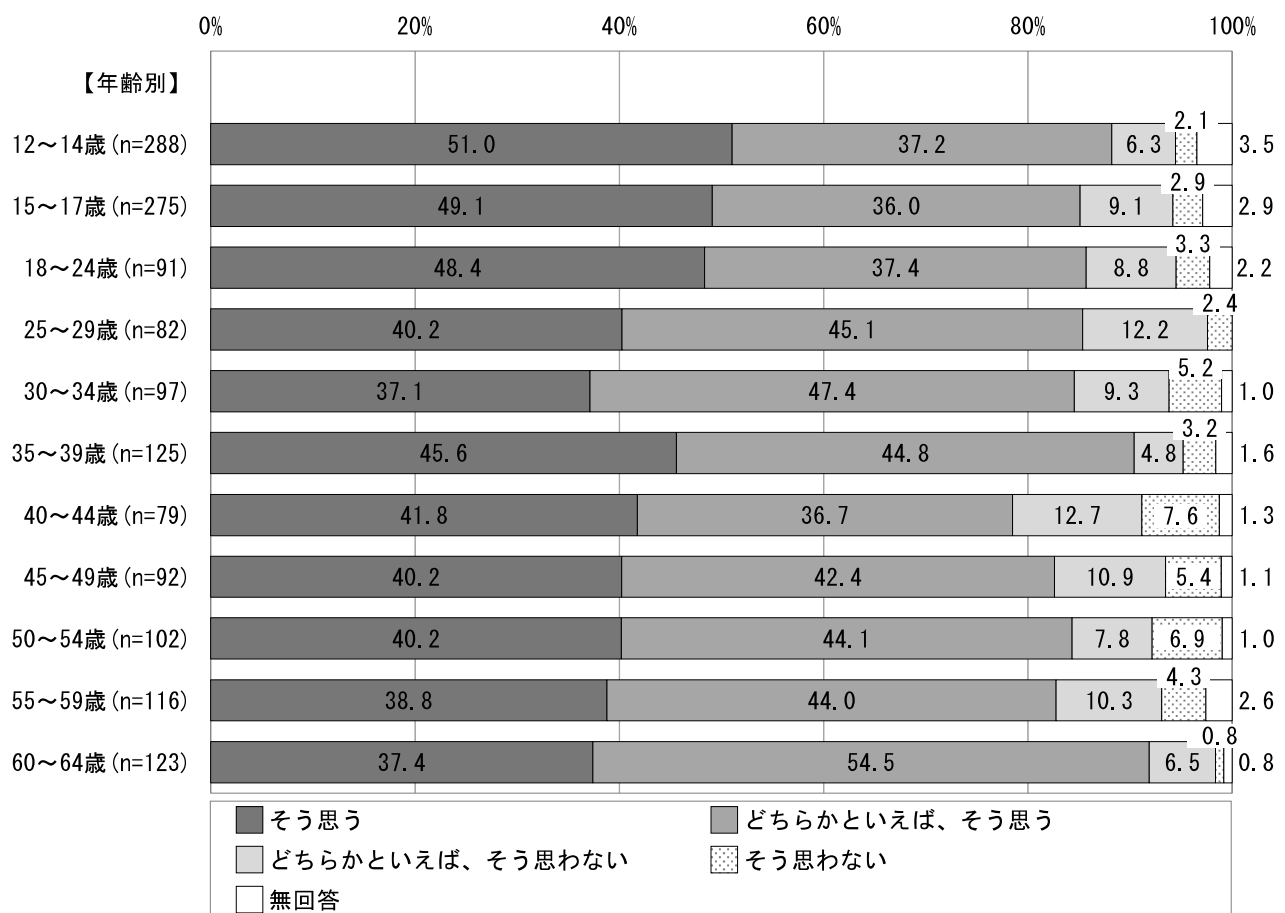
ここでは、中学生・高校生相当年齢（12～17歳）、若者・青年（18～39歳）、中高年（40～64歳）の調査において、共通の設問から、年代別の比較を行う。

（１）あなたは今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。

幸せだと思うかについてみると、年代が下がるほど、「そう思う」の割合が高くなる傾向がみられる。

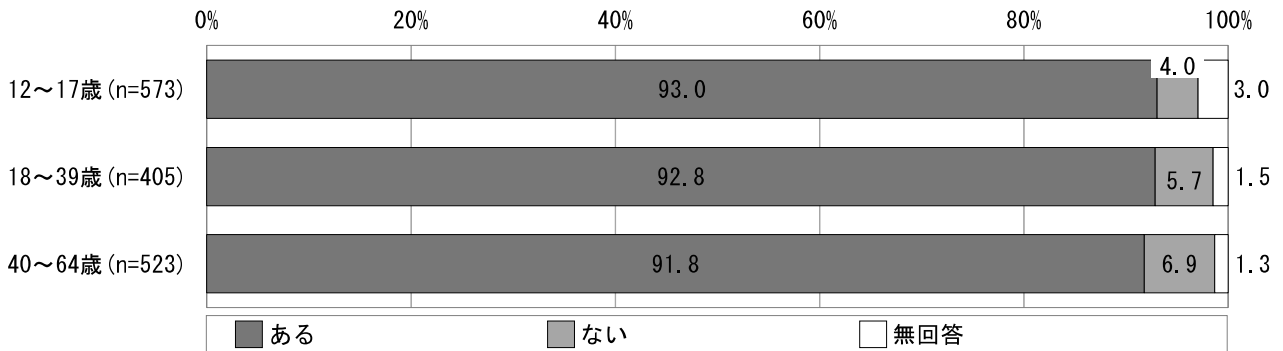


また、それぞれの年代の詳細は、以下のとおり。



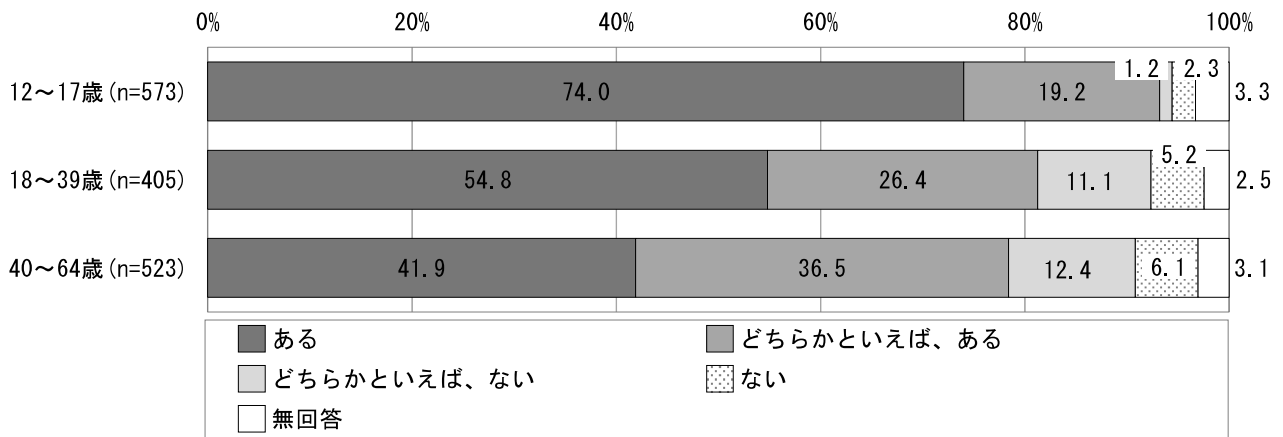
（２）あなたが日常的にほっとできる、居心地のよい場所がありますか。

居心地のよい場所の有無についてみると、すべての年代で「ある」が９割を超えている。



（３）趣味・熱中するものがありますか。

趣味・熱中するものの有無についてみると、年代が下がるほど、「ある」の割合が高くなる傾向がみられる。



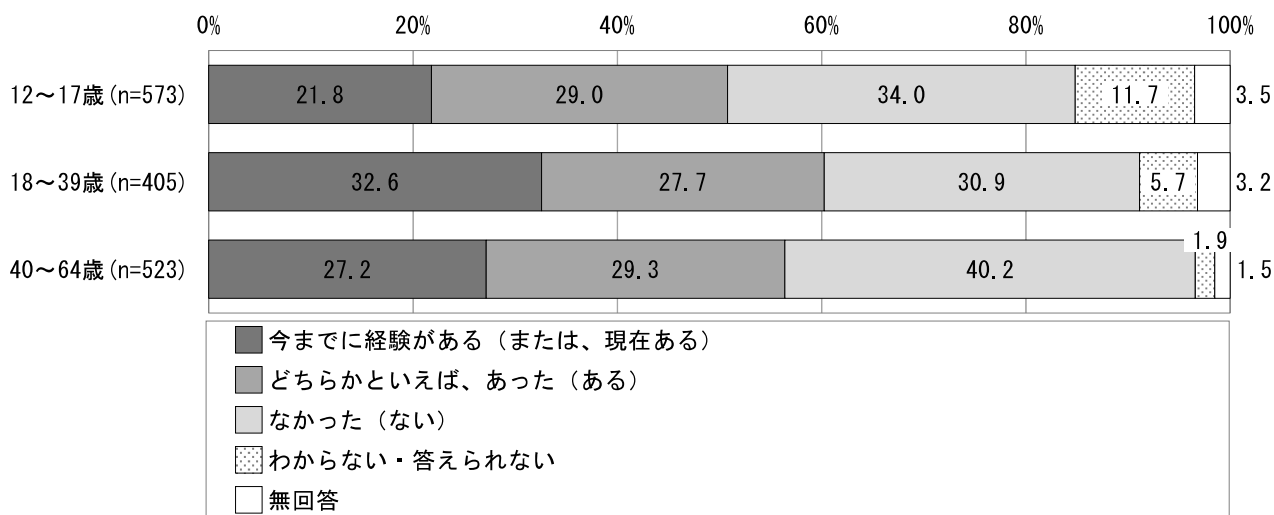
(4) あなたのひととの関わり・つながりはどのようなものですか。

ひととの関わり・つながりについてみると、全体として「家族・親族」が高い割合を占めるが、12～17歳では「学校で出会った友だち」、18歳以上では「職場・アルバイト関係の人」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	家族・親族	学校で出会った友だち	塾や習いごとで出会った友だち	職場・アルバイト関係の人	地域の人（近所の人など）	インターネットで知り合った人	恋人・パートナー	その他	いない	無回答
【会話やメール・SNS等をよくしている人】										
12～17歳 (n=573)	71.0	86.0	14.5	1.6	3.7	11.0	7.9	1.7	1.9	4.2
18～39歳 (n=405)	76.0	46.4	4.7	41.7	5.4	12.1	28.4	3.0	4.9	2.5
40～64歳 (n=523)	76.7	23.9	6.9	49.5	15.7	6.1	12.4	6.9	4.4	4.6
【何でも悩みを相談できる人】										
12～17歳 (n=573)	68.2	60.6	5.2	0.5	0.7	3.3	4.7	2.1	10.3	4.2
18～39歳 (n=405)	65.2	36.3	1.7	19.3	1.2	4.7	26.7	3.5	13.1	2.5
40～64歳 (n=523)	64.4	18.5	2.5	18.4	4.6	1.7	10.3	5.5	14.3	5.9
【楽しく話せる人】										
12～17歳 (n=573)	69.6	90.1	18.2	3.0	3.1	9.9	7.2	3.0	0.7	3.5
18～39歳 (n=405)	73.3	57.8	5.7	43.0	5.4	11.6	28.4	3.5	4.0	2.5
40～64歳 (n=523)	71.1	33.5	9.0	52.8	17.6	4.8	13.4	6.7	3.6	3.1
【困ったときは助けてくれる人】										
12～17歳 (n=573)	83.2	70.5	7.5	1.6	4.5	2.8	6.3	3.3	2.4	4.2
18～39歳 (n=405)	84.2	39.3	3.2	31.6	3.5	4.0	28.6	3.5	4.4	2.2
40～64歳 (n=523)	83.0	17.4	2.7	32.1	11.7	1.3	14.3	5.4	4.2	3.3
【いつもつながりを感じている人】										
12～17歳 (n=573)	82.9	67.5	8.0	0.5	3.0	5.2	7.3	1.0	4.0	4.2
18～39歳 (n=405)	81.0	36.0	1.7	19.5	1.7	5.2	29.1	2.5	5.7	3.0
40～64歳 (n=523)	80.9	20.7	3.1	20.8	7.5	1.9	14.5	4.2	5.4	4.4

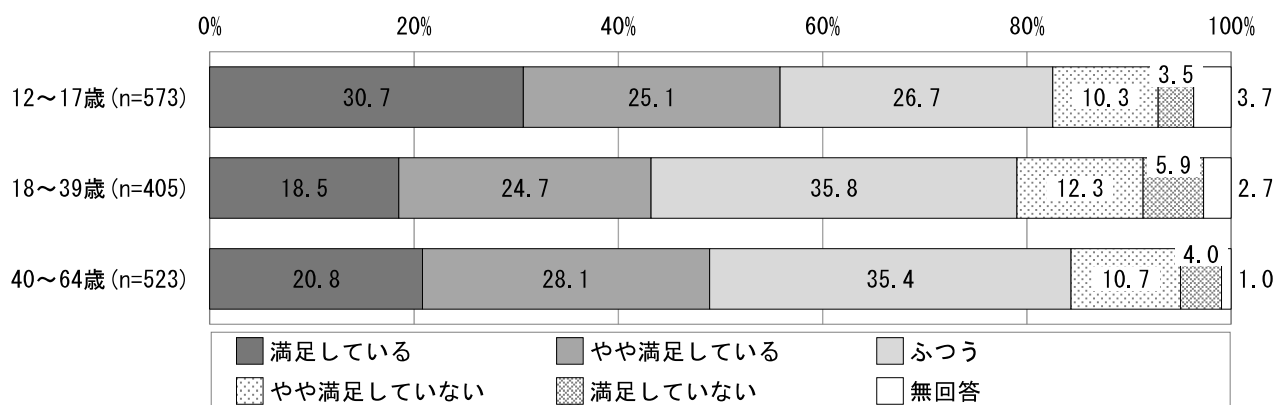
（５）あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。

社会生活や日常生活を円滑に送れていない（いなかった）状況についてみると、18～39 歳で「今までに経験がある（または、現在ある）」が 32.6%と高くなっている。



（６）伊勢原市での生活に満足していますか。

伊勢原市での生活の満足度についてみると、「満足している」は、12～17 歳で 30.7%と最も高くなっている。一方、「満足していない」は、18～39 歳が 5.9%と高くなっている。



2. 調査間の比較によって分かる年代別の特徴

- ・中学生・高校生相当年齢(12～17 歳)

(1) 幸福度の実感を問う「あなたは今、自分が幸せだと思うか」で「そう思う」が 50.3%、
(3) 趣味熱中するものが「ある」が 74.0%と他の年代よりも高くなっている。
また、(6)伊勢原市での生活満足度で、「満足している」が 30.7%で最も高い。

- ・若者・青年(18～39 歳)

(5) 社会生活や日常生活上の問題について、「今までに経験がある（または、現在ある）」が 32.6%と最も高く、(6)伊勢原市での生活の満足度で、「満足している」が 18.5%と最も低くなっている。

(1) 幸福度の実感では、40～64 歳よりも高い割合だったものの、伊勢原市での生活については満足度が低く、何らかの問題を感じている。

- ・中高年(40～64 歳)

(2) 居心地のよい場所の有無については、「ある」が 9 割を超えている一方、「ない」が 6.9%と他の年代よりも高くなっており、一定数の人は、居心地のよい場所が「ない」と感じている。

また、(3) 趣味・熱中するものの有無について「ある」が 41.9%と最も低くなっている。

3. まとめ

年代ごとの比較では、年代が上がるごとに「幸せだと思う」割合が減る調査結果であった。

思春期の中高生が、様々な経験を重ね、いろいろな現実と直面して悩みながら成長し、若者・青年になって、仕事や結婚、子育てなどで幸せを感じることがある一方で、社会的な役割や責任に対する不安などが加わり、徐々に「幸せだと思う」割合が減っていくのではないかと推測される。

全年代において「幸せだと思う人」は、「幸せだとは思わない人」に比べて、「趣味や熱中するものを持っている」割合や「日常的にほっとできる居場所がある」割合が高く、また、人間関係で、「幸せだと思う人」は、「幸せだとは思わない人」に比べて、「会話やメール、SNS をよくする人がいる」割合や「悩みを相談できる人がいる」割合が高い。「幸せだと思う」ことは、「その人にとって不満がなく、望ましい状態」であるともいえ、人生を豊かに感じる指標の一つであるといえる。今「幸せだと思っているこども・若者」には、年を重ねても幸せだと思える状態が継続できるような取り組みを進める一方で、「幸せだとは思わないこども・若者」に対しては、その要因を分析し、幸せを感じてもらえるような支援をしていきたい。

そのためには、多様な体験機会の創出や居場所づくり、相談事業の充実などのほか、庁内外の機関や地域の青少年健全育成団体などとの連携が不可欠である。特に中高生年代では、「今の自分が好きだ」という設問に「当てはまる」、「どちらかと言えば当てはまる」と回答した人の約 8 割が「地域社会から支えられていると思う」と回答している（P8 参照）ことから、地域全体でこども・若者を育てる土壌づくりは大切である。引き続き、これまでに培ってきた各団体等との繋がりや関係性を良好に保ちながら、こども・若者の育成及び支援に取り組んでいきたい。

○幸せな状態を創出するための主な取組例

- ・こども・若者の自己肯定感や自己有用感を高めるような、安全で安心して過ごすことができる居場所づくり
- ・相談支援事業の充実
- ・様々な体験活動事業への参加機会の提供
- ・地域活動に取り組むこども・若者の育成